備前市事務事業評価シート

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	医療法、備前市国民健康保険病院条例
総合計画 大項目 基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先 担当課（室）	市立吉永病院事務部
総合計画 中項目 基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり	問合先 職・氏名	庶務係長　大峠一吉
総合計画 小項目 施策	07 病院事業	問合先 電話	0869-84-2120
事務事業名	10 吉永病院運営事業	このシート作成に要した時間	6.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	出資者である市民
目的（何のために）	市立吉永病院の基本理念に基づき、安心、安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的、効率的な病院経営の推進を図る
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	患者さんに親しまれ、信頼され、必要とされる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、安定した病院経営とする。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
病院運営(各種委員会)	病院の機能評価、業務改善、医療改善	◎
労務管理	病院職員の労務管理、健康管理	○
施設管理	病院施設の管理	○
財務管理	病院運営の財務管理	◎
その他庶務	法令、条例に沿った病院運営の庶務	○

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	39,996	41,557	41,711
	必要人員 人件費		5.03人 47,208	4.58人 44,675	4.90人 41,470
	事業費計		87,204	86,232	83,181
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		87,204	86,232	83,181
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	会議出席者延数	説明	院内会議 各種委員会	会議出席者延数	会議出席者延数
	結果指標量	人	860	980	946
	対前年比	%	100.0%	114.0%	96.5%
	活動コスト	円	8,613,000	6,616,000	6,209,000
	単位当たりコスト		10,015	6,751	6,563

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
決算における経常収支比率（%）	目標値（A）	100	100	100	104
	実績値（B）	100.4	103.4	103.6	到達目標値
	達成率（B/A）	100.40%	103.40%	103.60%	104

成果指標設定の考え方・式や説明

経常収入/経常費用×100　「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標　①経常収支比率、②職員給与費率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。（診療事業のシートで③を選択）

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ■ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高いや / B 高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**A**

効率性の評価

コスト手段

- ■ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ■ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ■ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高いや / B 高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

有効性の評価

目的達成度 市民参画度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- ■ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ■ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- ■ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高いや / B 高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**A**

事業の目的やその数値目標であるべき成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

説明：事業全体の中で可能な部分について効果的な事業を実施する。備前市病院事業検討委員会の答申を受けた地方独立行政法人化については、法人に移行するとした場合の問題や課題を調査し、法人移行の可否判断を行うこととしている。

総合評価

経営安定化を維持するため、経営分析等を行うとともに、院内各種委員会の活性化を図り経営効率を高めてきた。院内会議で、①経営改善に向けた検討　②患者からの意見に対する対策の検討　③各部会の課題を検討　④情報の共有　⑤診療報酬の減点対策等を協議した。また、医療安全管理委員会、院内感染対策委員会、安全衛生委員会等各種委員会で医療事故及びヒヤリハット事例の検証と対策、院内感染予防対策等を協議した。職員の資質向上のため、積極的に研修会への参加を促すとともに、院内研修を毎月1回以上開催し、接遇、専門領域の知識習得に努めた。今後も職員の資質及びモチベーションの向上に努め、安定経営を目指す。

総合評価（A 高いや / B 高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○	○				

取組目標：公立病院改革プランの経営の効率化に係る計画に沿って検証し、患者ニーズに沿ったサービスの提供を実施するとともに、経費削減や看護師等職員の確保に努め、健全経営を目指す。
また、24年度において地方独立行政法人移行を決定した場合は、法人化に向けた各種作業を円滑、効率的に実施していく。